

知って備える防災メモ

第22回



できていますか? 『暴風雪』への備え

『暴風雪』の恐れがあるときは

『暴風雪』の恐れがあるときは

家の中にいるとき

雪を伴う強い風が吹くことを『暴風雪』と言います。風は強いが晴れている、と思ったり、雪を伴って一瞬で暴風雪に変わることもあるため、天気の変には注意が必要です。

気象台では、『暴風雪』によって重大な災害が発生する恐れのあるときに『暴風雪警報』を発表します。最新の気象情報をチェックし、暴風雪が予想されているときは、できる限り外出を控えましょう。

- ・ 停電に備え、懐中電灯、携帯ラジオ、防寒具、ポータブルストーブ、灯油、非常食、飲料水などを準備しておきましょう。
- ・ FF式暖房機などを使用している場合は、給排気口付近が雪でふさがれないよう注意が必要です。

車を運転するとき

- ・ 吹雪や吹きだまりなどによって車が動けなくなることを想定し、防寒着、長靴、スコップ、けん引ロープなどを用意することにも、十分に燃料があるか確認します。
- ・ 吹雪により視界が悪くなったときは、道の駅、コンビニエンスストア、ガソリンスタンドなどで天気の回復を待ちましょう。



問い合わせ

室蘭地方気象台

(☎) ②4249

人が輝き まちがときめく

仲間たち

Group

合唱団あすなろ

『合唱団あすなろ』は、室蘭市で活動していた合唱団を前身として、昭和50年に発足しました。現在、21人のメンバーで、毎週金曜日の18時から21時まで、若草つどいセンターで活動しています。

「普段の活動では混声四部合唱の練習をするほか、フォークソングや童謡を歌い、時には自分たちで作詞した曲を練習することもあります」と話すのは代表の田中榊(さかき)さん。

「一人一人の歌声がだんだんと合うようになっていく過程が合唱の面白さです。みんなで声を合わせて歌うのはとても気持ち良く、歌う人も聞く人も元気がなれますよ」と笑顔を見せます。



▲体を動かして楽しく歌う団員の皆さん

同合唱団は毎週の練習のほか、年に6回、誰でも参加できる合唱の場として『うたごえ喫茶』という会を開催したり、全道・全国規模の大会に出場し、各地の仲間と交流したりするなど、活動は多岐にわたります。

知人の誘いで活動を始めたという高橋(たかはし)勝子(かちこ)さんは、「おなかから大きな声を出して歌うと、心も体も元気になります。時には愛や平和などをテーマとした歌を歌い、遠方の仲間と交流できるのもうれしいですね」と、合唱の魅力を話してくれました。自分たちが上手に歌えるようになり、歌う喜びを多くの人に知ってもらいたいという同合唱団。見学を希望する方は田中(たなか)さん(☎) ⑧4643)まで。

おなかから大きな声を出して歌うと、心も体も元気になります

寸劇に込めた詐欺の被害防止へのメッセージ

「私たちが演じた寸劇は、独り暮らしのおばあちゃんが、離れて住む息子から電話も手紙も来なくて寂しい思いをしているところに振り込め詐欺の電話が掛かってきてだまされてしまうストーリーです。普段から、家族や友人と連絡を取り合い、コミュニケーションを取ってれば被害を防げるのでは、というメッセージを込めています」と話す藤江眞優香さん。

ことし7月、警察から、詐欺防止の寸劇を通して中学生と高齢者の交流を図りたいと依頼があり、練習を始めました。

「外部からの依頼で劇を披露するのは初めてでしたが、お話をいただいたときはうれしかったですね。練習期間が短い中、出演者のせりふが多く苦労しましたが、演出や音響など裏方を含め、部員一丸となって取り組みました。当日は、会場のおじいちゃん、おばあちゃんがここにこしなから寸劇を見てくれたのが印象的でした。寸劇を通して、家族や友人など身近な方同士で普段から声を掛け合う気配りが大切だと感じましたね」と、藤江さんは振り返ります。



▲警察官も出演した振り込め詐欺の被害防止を呼び掛けた寸劇

幼稚園のクリスマス会などでも劇を披露したい

部活動では演劇をやりたいと、演劇部のある北海道登別明日中等教育学校に進学した藤江さん。演劇を志したのは、ミュージカルの鑑賞がきっかけでした。

「小学6年生の春に初めて見たミュージカルに感動し、自分もやってみたいと思ったのが、演劇に興味を持った始まりです。依頼があれば、今度は幼稚園のクリスマス会などで、子どもたちに喜んでもらえるような劇をお見せできればうれしいですね。毎年3月に開催される文化系部活動の合同発表会では、市民の皆さんにも私たちの演劇をぜひ見てほしいと思います」と、笑顔で話す藤江さん。

ことし12月に沖縄県で開かれる全国大会への出場を控え、今日も部員とともに練習に励みます。



KIRARI

藤江眞優香さん(中央町)

8月5日(火)、市民会館で開かれた登別市老人クラブ大会演芸発表会で、北海道登別明日中等教育学校前期演劇部の生徒が、高齢者を狙った振り込め詐欺の被害防止を呼び掛ける寸劇を披露し、迫真の演技が好評を博しました。

寸劇の様子は、多くの方に見てもらおうとDVDに収録され、市民サービスグループや登別市社会福祉協議会で、町内会や老人クラブに貸し出ししています。

同学校3回生で部長の藤江眞優香さんに、寸劇に込めた思いや前期演劇部の活動などを聞きました。

市民の皆さんにも私たちの演劇をぜひ見てほしい



平成11年、登別市生まれ。15歳。幌別小学校を卒業後、北海道登別明日中等教育学校に入学し、中学生に当たる1回生から3回生までの生徒による前期演劇部に入部。昨年12月から部長を務め、部員17人のまとめ役として活動する。